

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業
I 産地競争力の強化を目的とする取組

(香川県 平成27年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)①	メニユー① 成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績① 達成率	メニユー② 成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価		都道府県の評価		備考
			計画時(平成24年)	1年後(平成25年)	2年後(平成26年)	3年後(平成27年)	目標値(平成27年)	達成率			計画時(平成24年)	1年後(平成25年)	2年後(平成26年)	3年後(平成27年)	目標値(平成27年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他		事業実施主体の評価	都道府県の評価			
綾川町	香川県農業協同組合	土地利用型作物(稲)における1等需要米を除去)	9.7% (18年産から24年産の1等米比率の7.5平均。検査数量2377tのうち1等米234t)	59.0% (検査数量2211tのうち1等米1304t)	51.7% (検査数量2043tのうち1等米1056t)	44.4% (検査数量1947tのうち1等米864t)	45.3% (検査数量2377tのうち1等米1078t)	97.4%	(実績)平成27年産の1等比率は44.4%であった。綾川町内での検査数量1,947,193kgのうち1等米863,643kg(飼料用米、規格外、屑米は除く)。 (達成率)97.4%=(44.4%-9.7%)÷(45.3%-9.7%)	土地利用型作物(稲)における高温耐性品種の作付割合	0.5% (水稲作付面積5ha)	42.8% (水稲作付面積1076haのうち「おいでまい」作付面積460ha)	41.7% (水稲作付面積1057haのうち「おいでまい」作付面積441ha)	43.9% (水稲作付面積1025haのうち「おいでまい」作付面積450ha)	43.5% (水稲作付面積1070haのうち「おいでまい」作付面積465ha)	100.9%	(実績)平成27年度の実績は、27年度の実績は実施地区の水稲作付面積は1,025ha(綾川町データ)で、そのうち「おいでまい」の作付面積は450ha(農業共済データ)で、作付割合は43.9%であった。 (達成率)100.9%=(43.9%-0.5%)÷(43.5%-0.5%)	産地管理施設(色選別機1式 処理量3,200kg/h)	35,595,000	16,950,000	0	0	18,645,000	平成26年2月28日	平成27年産米は、8月下旬の出穂期以降、天候不順(極端な低温、日照不足など)が続き、登熟が進まず、また10月の豪雨で結果的に早期落水となり、充実度や青未熟などで落等し、高温登熟性の高い「おいでまい」の品種特性が生かされず、早短期水稲も含まれた1等米比率は、26年産より7.3%低い44.4%にとどまりました。【香川県作況指数9.4】 「おいでまい」の作付面積については、事業実施後、作付拡大を推進した結果、平成27年度の作付割合は43.9%となり、目標を達成しました。 また、26年産の県産「おいでまい」が米の食味ランキングにおいて、25年産に続き最高評価の「特A」を獲得したこと、実需評価が高まり販売促進につながりました。 今後は更なる推進指導体制の強化や適宜、的確な情報提供を行い、作付拡大、高品質安定生産及び色選別機の有効利用による品質の向上を図ります。	事業実施1年後から、1等比率が飛躍的に向上し、「おいでまい」の作付割合も4割以上に増加するなど、一定の効果を得られた。 今後は、需要に応じた米生産のもと、「おいでまい」への品種転換および作付拡大を指導するとともに、1等米比率の向上に対しては、土づくり等により天候の影響を受けにくい栽培管理を指導していくことで、フォローを行っていく。		
丸亀市	香川県農業協同組合	果樹(もも)の出荷量に対するブランド品の出荷割合	2.7% (出荷量476tに対するブランド品12.7t)	1.9% (出荷量438.5tに対するブランド品8.3t)	25.7% (出荷量502.0tに対するブランド品129.0t)	13.3% (出荷量386.4tに対するブランド品51.2t)	12.7% (出荷量630tに対するブランド品80t)	105.5%	(実績)平成27年産の出荷量386.4tのうち、ブランド品として51.2t(13.3%)を出荷した。 (達成率)105.5%=(13.3%-2.7%)÷(12.7%-2.7%)	果樹(もも)の出荷量に対する契約出荷量の割合	5.2% (出荷量476tに対する契約出荷量24.9t)	12.2% (出荷量438.5tに対する契約出荷量53.6t)	11.8% (出荷量502.0tに対する契約出荷量59.1t)	21.9% (出荷量386.4tに対する契約出荷量84.5t)	20.6% (出荷量630tに対する契約出荷量130t)	108.4%	(実績)平成27年産の出荷量386.4tのうち、量販店など実需者と契約して84.5t(21.9%)を出荷した。 (達成率)108.4%=(21.9%-5.2%)÷(20.6%-5.2%)	集出荷貯蔵施設(非破壊選果機1条、トレーサビリティシステム1式)	104,780,565	49,891,000	0	0	54,889,565	平成26年3月7日	整備により、果実の熟度や着色ムラを測定することで、品質管理の精度を高めるなど機能強化を図り、消費者ニーズに対応した高品質果実のブランド化を進めるとともに、トレーサビリティシステムの構築により、県内外の実需者との契約出荷量が増加し、成果目標を達成することができた。今後も優良品種への改植を進め、足腰の強い産地づくりに取り組んでいく。	平成27年度については、台風11号の甚大な被害により、総出荷量こそ減少したものの、ブランド品の出荷割合及び契約出荷割合は順調に増加し、一定の効果を得られた。 今後は、出荷量の回復に向け、果樹経営支援対策の活用による改植等を推進し、産地の競争力強化を指導する計画である。		

都道府県平均達成率	103.1%	総合所見	実施事業2件のうち、1件は成果目標を2つも達成できたが、1件は1つの成果目標の達成率が97.4%とわずかに未達となった。しかし、事業実施1、2年目には達成できていたことから、取り組みを継続することで目標を達成できると思われる。
-----------	--------	------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------